

8月供給の地元農産物の「放射能測定結果」をお知らせします！

～夏ギフト用「地元の桃」（吉田果樹園）についても、

検出下限値1Bq/kg以下にて測定の上、不検出でした！～

単位：ベクレル/kg

商品 (対象試料)	生産者名	産地 (場所)	測定結果			
			ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	合算値
桃	吉田果樹園	須賀川市 (露地栽培)	検出せず (<0.60)	検出せず (<0.62)	検出せず (<0.60)	—

遅くなりましたが、“夏ギフト用”にご案内しておりました『地元の桃』（吉田果樹園）につきまして、上記の通り放射性物質は全くゼロに近い結果であったことをお知らせいたします。

※尚、同じ圃場内のため、8月23日（土）予定の『桃狩り』、及び8月4回より供給予定の『川中島』『黄金桃』なども同じ結果内容としてご案内いたします。

※以前より継続して供給している各種青果類についても、全て同様の結果を得ております。

※尚、「野菜セット・愛菜箱」（福島県愛農会）については、各单品ごとに「検出下限値5Bq/kg以下」にて測定し、不検出の結果を得てお届けしています。

<供給にあたっての考え方>

私たちあいコープふくしまでは、地元生産者と話し合い、「基準値」などは設けず）現在は“1ベクレル/kg以下”での供給を「両者の目標」としてしています（※あいコープみやぎでは“25ベクレル/kg”を「自主基準値」として、それを下回ることを確認してお届けしています）。

いずれにしても、「あいコープ組合員には可能な限り低い値のものを」と両者が努力してきました。

同時に、地元の農産物は生産者の努力によって（その排除が最も困難とされる果樹栽培でも）「ネオニコチノイド系農薬」は一切不使用のものをお届けしています。

この農薬は、農作物の根から内部に浸透し、持続性があるため散布回数は少なくても済みますが、作物の隅々まで行き渡り、洗っても落ちることはなく、簡単に私たちの体に侵入してしまいます。その正体は神経を伝達するスイッチをオンの状態にしてしまうニセ神経伝達物質で、異常興奮、瞳孔機能障害、低体温、筋肉の脱力、疲労、引きつけなどの原因になると指摘されています。